高校修学旅行の実体

日修協まとめ

日本修学旅行協会がまとめた平成20年度の「教育旅行年報」によると、高等学校の国内修学旅行は、国公立と私立を含む全体の実施率が81.8%（19年度85.7%%）だった。国内修学旅行を実施しない理由では、「海外修学旅行を実施」が全体の77.8%（140校／公立62校、私立77校）を占めた。以下、同年報から国内修学旅行の実態を要約する。

交通費が費用の50%に

旅行先は沖縄と北海道が突出

◆実施時期

国内修学旅行の実施時期についての全体傾向は、4月～8月13・2%（16・5%）、9月～12月64・4%（57・5%）、1月～3月22・4%（26・0%）となっている。特に9月～11月47・7%（前年比プラス7・7%）、12月～3月が39・0%（前年比マイナス4・5%）の増減が際立っている。これは実施内容の数値にも表れているが、スキー修学旅行の減少が反映されているためと考えられる。

また、公立と私立での実施時期の比較では、6月と3月で私学が公立を上回り、逆に10月、12月は公立の数値が大きく上回っている。

国内修学旅行での旅行日数の分布と平均旅行日数では、全体の平均日数は4・2日で昨年と同じ。公立4・1日（前年4・1日）、私立4・6日（4・5日）と数値に大きな差は出ていない。

◆旅行費用

旅行の全体費用は9万3657円（前年9万3412円）で、前年に比較すると245円の微増となっている。

また、旅行費用の内訳構成比は、交通費・宿泊費・体験学習費・その他の順で、交通費の占める割合が50%を超える状況となってきている。また、各地域からの行先を見ると遠隔地への修学旅行が増えており、これも交通費の割合を押し上げている原因のひとつと考えられる。

体験学習費用については、実際の体験学習費用の回答を願ったが、記載内容の合計金額と一致しないケースが多く、その他費用などに計上されていることが推測される。また、体験学習費用を別途徴収しているケースも多数あり、実際の体験学習費用は、表れている数値以上のようだ。

生徒一人当たりの旅行費用分布は、全体では8万円～10万円台に集中している。公立と私立（10万円～12万円）での旅行費用金額帯では、2万円違うことが報告されている。

◆実施内容

実施内容の延べ件数・構成比は、上位10項目で「野外活動体験（マリンスポーツ・スキーなどを除く）」が「企業や工場見学」に変わり新しくベスト10入りした。

一方、スキー・スノーボードの減少が目立っている。

◆方面と宿泊施設

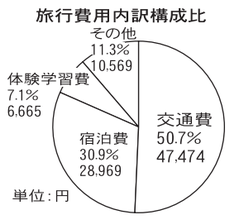
方面別では、沖縄県、北海道が多いことから自然、環境、マリンスポーツ、ラフティング、食品作り体験などが地域の特性として、体験学習に組み込まれている。キャリア教育関連では企業や学校・大学訪問、農業や漁業、酪農などの職業体験などが実施されている。

宿泊地の県別ベスト10は、1位沖縄、2位近畿、3位北海道、4位関東、5位中部、以下九州、中国、東北、四国だった。

利用宿泊施設では、ホテル利用が多いのは沖縄県、北海道などのリゾート地、それと東京都、千葉県、大阪府などの大都市への宿泊が多いためであり、今年の調査では大阪府の伸びが顕著だった。

その他の宿泊では、農山漁村民宿や公共施設、一般民宿、ペンションなどが続く。旅行費用の交通費が占める割合が高くなり宿泊代の低廉化、体験学習の多様化を求め、今後も増えるものと予想される。

旅行費用内訳構成比



生徒1人当たり旅行費用の分布および平均額と構成比

単位：校数・%

設置者／金額	国・公立		私立		全体	
	校数	構成比	校数	構成比	校数	構成比
～30,000円	2	0.3	0	0.0	2	0.3
～40,000	2	0.3	0	0.0	2	0.3
～50,000	7	1.2	0	0.0	7	0.9
～60,000	19	3.2	3	1.7	22	2.8
～70,000	35	5.8	2	1.1	37	4.8
～80,000	132	21.9	5	2.8	137	17.7
～90,000	156	25.9	17	9.5	173	22.3
～100,000	127	21.1	44	24.6	171	22.0
～110,000	53	8	24	13.4	77	9.9
～120,000	46	8	23	12.8	69	8.9
～130,000	19	7.6	18	10.1	37	4.8
～140,000	4	3.2	12	6.7	16	2.1
～150,000	1	0.7	9	5.0	10	1.3
～160,000	0	0.2	10	5.6	10	1.3
～170,000	0	0.0	6	0.0	0	0.0
170,000以上	0	0.0	6	3.4	6	0.8
学校数	603	100.0	176	100.0	776	100.0
平均金額（円）	88,562		114,388		93,657	
最高金額（円）	170,00		180,000		180,00	
最低金額（円）	27,612		53,000		27,612	

※未回答33校あり、国立3校（～80,000：1校、～120,000：2校・公立600校）

都道府県別旅行先ベスト20

単位：件数

順位	旅行先	件数	前年度
1位	沖縄	1,543	1
2位	北海道	946	2
3位	京都	541	3
4位	東京	398	4
5位	大阪	335	6
6位	長野	296	5
7位	奈良	199	9
8位	長崎	194	7
9位	千葉	177	8
10位	鹿児島	117	15
11位	広島	97	10
12位	兵庫	88	11
13位	新潟	83	13
14位	福岡	54	12
15位	神奈川	50	14
16位	熊本	43	15
17位	岩手	36	18
18位	山形	32	–
19位	福島	23	17
20位	山口	15	–

環境学習がテーマの修学旅行

水俣病のさまざまな問題を知り 環境と地域づくりを理解

熊本県の水俣・芦北地域は、「環境」をキーワードに4つの分野の修学旅行メニューを実施できる注目のエリアだ。同地域は、11年の九州新幹線全線開業によって、関西圏以西から新幹線でも訪れることができるようになるので、修学旅行を実施しやすくなる。今回は、環境をテーマにした水俣市での修学旅行を中心に紹介する。

「水俣に聴くプログラム」の体験風景

伝統漁法のうたせ船で乗船体験と環境学習

里山での田舎料理づくりを体験

①水俣病とのかかわりを学ぶ

水俣病は、チッソ水俣工場が水俣湾などへ流したメチル水銀により発生し、沿岸に多くの被害をもたらした。

修学旅行では、さまざまな立場で水俣病と水俣にかかわった人々の自宅や仕事場を、班別で訪ねて直接話を聞く「水俣に聴くプログラム」がおすすめだ。水俣病患者とその家族、漁師、水俣という地名に泣かされてきた蒲鉾屋、水俣出身と言えなかった市民などさまざまな人の生の声を、交流しながら聞ける貴重なプログラムと評価されている。水俣病の体験談や苦労話などを聞くとともに、参加した生徒たちも熱心に質問する姿が毎回見られる。

②環境について考える

「環境モデル都市」として国から認定を受けた水俣市では、ガラスビンを6種類に分別するなど、ごみを22種類に分別。小中学校や家庭、保育園に環境ISOを広めたり、リサイクルやリユースを進める企業が集まって「みなまたエコタウン」を形成しており、視察研修を実施できる。

水俣病を経験した水俣市では、市民、行政、企業の連携した取り組みを学び、「環境」をキーワードとした地域づくりを知ることができる。

③暮らしと地域づくりを知る

芦北町には、明治初期から伝わる伝統漁法「うたせ漁法」がある。海底に降ろした底引き網を海風にまかせて帆船で引いていく自然の力を利用した漁で、美しいリアス式海岸を楽しみながら、漁を行い、乗船体験と環境学習を実施できる。

水俣市山間部の4地区は、村全体を博物館に見立てた「村丸ごと生活博物館」となっており、地元の人々が生活学芸員として村の中を案内してくれる。水を大事にする暮らし、数十種類の野菜をつくる畑など、里山の暮らしの豊かさを学べる。

④楽しく遊び自然と向き合う

津奈木町には、「緑と彫刻のあるまちづくり」の拠点施設として整備された「つなぎ美術館」がある。熊本県ゆかりの作品を展示しており、周辺の野外彫刻巡りと合わせて楽しめる。

また、同町では、今後、里山を生かした体験メニューを開発していくという。

◆高校教育旅行のポイント

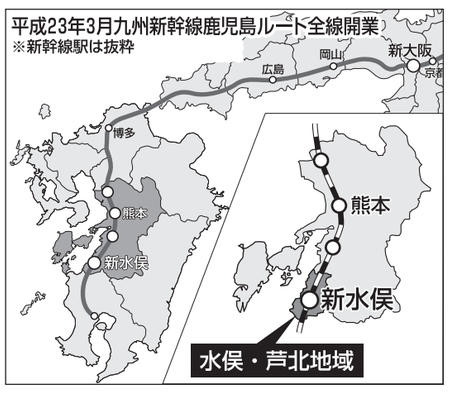
水俣・芦北地域の修学旅行のコーディネートを行っている「NPO法人環不知火プランニング」では、高校生の修学旅行や研修旅行の際に学んでほしいこととして、「水俣病の教訓」を挙げる。高校生になると、水俣病は、健康被害や食物連鎖による中毒という目に見える現象だけでなく、社会問題や人間の精神的な部分に着目して研修することができるからだ。

社会問題としては、重化学工業の推進、日本の高度経済成長によって起きた事件。便利な生活を追求したために起きた問題として捉えることができる。水俣病は、加害者や被害者の感情を地域内につくり出し、水俣の静かな漁村のみならず水俣・芦北地域のコミュニティを破壊した。

通常の体験メニューでも、水俣病からの学びと自然体験をセットにすることで、自然の大切さをいっそう感じることができる。また、水俣で修学旅行や研修旅行を繰り返し実施している学校では、里山での田舎料理作りや海でのうたせ漁体験を行っている。地域の郷土料理やうたせ漁という非日常性と、地元の人たちとの交流が求められているからだ。

近年は、海外からの研修旅行の受け入れも進んでいる。08年度から09年度までの2年間でシンガポール6校、香港2校を受け入れた。また、シンガポールと韓国の教員視察も行われた。

経済成長と同時進行した水俣病。それらを教訓とした環境モデル都市づくりは、海外からの関心も高まっている。



問い合わせ先
NPO法人環不知火プランニング
〒867—0045　熊本県水俣市桜井町1丁目1番1号
TEL：0966-68-9450　FAX：0966-63-5909
E-mail:yamamoto@mkplan.org
http://www.mkplan.org/

水俣環境学習の実施事例

甲南女子高等学校　三宅　広明教諭

私たちの学校では、高1の必修科目として「探求」という科目がある。

これは、本来4クラスの学年を5つの講座（「自然環境と生命」「社会環境と生き方」「人間環境と福祉」「国際環境と多文化共生」「地域環境と神戸」）に分け、各講座に2人の教員が担当して行う授業で、生徒の自主的な活動によって学んでいく。研修は、各講座で自由に行うことになっており、1学期に校内研修、2学期に水俣への宿泊研修旅行を行っている。

水俣には環境に関するさまざまな問題があり、掘り下げるテーマとして生徒らの反応も良い。

特に生徒たちは、研修旅行で水俣病という厳しい経験を通して生まれてしまった人間関係や、さまざまな感情を知ることになる。生徒たちが、その体験を共有することで、日常の自分を振り返り、これまで気付かなかった友人の新しい面が見えてきたり、お互いのことをもっと思いやれるようになるなど、成長が見られる。例えば震災後の神戸「再生」と似た問題にきづく生徒も出てくる。

京都 東映太秦映画村

映画のテーマパーク

DS利用が大人気に

見る・作る・学ぶ・参加する

東映太秦映画村（京都市右京区）は、時代劇のオープンセットを公開する、日本初の映画のテーマパーク。劇場映画やテレビの人気番組の撮影、日本映画の貴重な資料を見学できる。

今年3月20日からは、学校教育にも導入されている携帯ゲーム機ニンテンドーDSのワイヤレス機能を利用したサービス「ニンテンドーゾーン」を開始した。ニンテンドーDSがあれば、時代劇をテーマにした謎解きゲームと多言語での映画村案内の2つのオリジナルコンテンツが無料で楽しめる。

修学旅行生に人気なのは、「見る・作る・学ぶ・参加する」をテーマにした、映画村ならではの体験学習プログラム。

特に、伝統産業の体験学習は、多くの学校が修学旅行のスケジュールに組み入れている。京扇子、京うちわの手描き体験のほか、清水焼絵付け体験、紙あんどん、万華鏡の手作り体験などがある。各業種の専門家が講師を務め、丁寧に指導。他の体験施設への移動時間が短縮できることも人気の理由だ。

班別研修には、ろくろ体験（1回につき2人まで）、清水焼絵付け体験（1回につき12人まで）、京扇子絵付け体験（1回につき10人まで）がおすすめ。

映画をテーマとしたものには、「ドラマ映像講座」がある。ドラマ作りが学べる講座で、教材シナリオをもとにしたコンテ作りや、コンテをもとに撮影されたサンプル映像を見てドラマ作りの仕組みを学習する。

そのほか、俳優と同じ本格的な扮装で江戸の町を歩く「本格的時代劇扮装」や「着物着付け体験」「殺陣（たて）講座」など、時代劇映画の登場人物になったような、貴重な体験ができる。

エコな暮らしにスポットをあてた「寺子屋おもしろ体験」では、映画製作用の小道具を使い、映画村の俳優が、時代劇の扮装で江戸庶民の生活の知恵を教えてくれる。

「大江戸暮らし編」と「大江戸環境編—江戸時代は循環型社会—」の2コースがある。

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村（☎075・864・7716）まで。

清水焼絵付け体験

本格的な「ろくろ」の体験

DSで時代劇をテーマにしたゲームや映画村案内が楽しめる

長野県 志賀高原の学習旅行がより体験型へと変わる

Snow Ski
日本最大級のスケールを誇るダイナミックな志賀高原でスキーを！

Exciting Outdoor
もっとエキサイティングにもっと自然の中へアウトドア体験がいっぱい。

Farm Stay
滞在中1日は農家ホームステイ。農作業を通じて田舎暮らしを体験します。

◆ファームステイ
・農作業体験
・郷土料理を作る食体験
◆スポーツ体験
・スキー
・カヌー
・ラフティング
◆クラフト体験
・藤細工
・白樺細工
・コカリナ

スノーモンキージャパングループ　詳細は各ホテルに直接お問い合わせください。

ホテル ホゥルス志賀高原
〒381-0401長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬
TEL.0269−34−3355　FAX.0269−34−3356
URL http://www.khuls.com/
E-mail info@khuls.com

志賀高原オリンピックホテル
〒381-0401長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬
TEL.0269−34−2125　FAX.0269−34−2126
URL http://www3.ocn.ne.jp/~shibu/olympic/
E-mail minoru1@carrot.ocn.ne.jp

志賀パレスホテル
〒381-0401長野県下高井郡山ノ内町志賀高原熊の湯ほたる温泉
TEL.0269−34−2221　FAX.0269−34−2339
URL http://shigapalace.co.jp/
E-mail palace@crocus.ocn.ne.jp